

教科	国語	科目	文学国語	開講学期	前期・後期	単位数	2・2	試験	前期・後期
タイプ	Ⅱ	レポート数	6・6	スクーリング必要時数		2・2	スクーリング実施時数		7・7
教科書(発行者)		標準文学国語(第一学習社)							
補助教材(発行者)		標準文学国語 学習書(NHK出版)							

科目の目標	小説、随筆、詩など、様々なジャンルの文学作品に触れ、文学作品を読み解き、作者の意図や作品に込められたメッセージを理解する力を養う。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深める。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深められている。	各領域において、創造的に考える力や深く共感したりする力を伸ばし、作品との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値に対する認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうと努めている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	作文(自分について書く)	第1回	前期
	第2回	現代の小説(一)『調律師のるみ子さん』	第2回	
	第3回	現代の小説(二)『ナイン』	第3回	
	第4回	随想『真珠の耳飾りの少女』	第4回	
	第5回	戦争と文学(一)『バグダッドの靴磨き』	第5回	
	第6回	近代の小説(一)『ころ』	第6・7回	
後期	第7回	現代の小説(三)『旅する本』	第8回	後期
	第8回	近代の詩	第9回	
	第9回	現代の小説(四)『卒業』	第10回	
	第10回	現代の小説(四)『ひよこの眼』	第11回	
	第11回	戦争と文学(二)『夏の花』	第12回	
	第12回	近代の小説(二)『山月記』	第13・14回	